



シルバーだより

道 標

第 27 号

令和 8 . 1 . 1

理事長あいさつ

2

大分市長年頭のごあいさつ
ボランティア清掃

3

各部長あいさつ

4

安全・適正就業委員会

委員長あいさつ

5

活動報告

シルボンヌ委員会より

6

シルバーふれ愛フェスタ

7

趣味の広場

新人職員紹介・退職のお知らせ

事務局通信

8



謹んで新春のお慶びを申し上げます
本年もよろしくお願いいたします



公益社団法人
大分市シルバー人材センター
理事長 江 藤 郁

皆様には、健やかに新春を迎えのことに、謹んでお慶び申し上げます。

昨年十一月、佐賀県において

社会の変化に対応し

シルバーは生まれ変わります！



一八二棟もの家屋が焼失する大火災が発生し、当シルバーの会員の皆様の中にも被害に遭われた方がいらつしました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

二〇二六年は午(馬)年です。馬は常に前を向いて進むことから、

ら、発展や成長、努力の実りを象徴する縁起の良い年とされています。この一年が、皆様にとっても実り多き年となることを願っております。このような前向きな年にあたって、私たちもまた、社会の変化にしながら、力強く歩みを進めていくことが求められています。

わが国では、人口減少や高齢化が世界に類を見ないスピードで進行しています。こうした中、地域での就業を通じて会員の皆様の生きがいを支え、地域のニーズに応える当センターの役割は、ますます重要なものとなっております。

「フリーランス法」の施行に伴い、令和八年四月からは新たな契約方法へと移行いたします。この法律は、請負で働く皆様を保護することを目的としたものであり、安心して働ける環境づくりに資するものです。一方で、事務所においては業務が煩雑になるなどの課題もありますが、円滑な移行に向けて準備を進めてまいります。

また、社会全体で進むデジタル化の波は、高齢者にとっても避けて通れない課題です。当センターでも、事務局だよりと配分金明細書の紙での配布を終了し、デジタルでの提供へと移行いたしております。ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、皆様にもこの変化に前向きに取り組んでいただきたく、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年も、皆様とともに歩み、地域に根ざした活動をさらに充実させてまいります。どうぞ変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

理事会あいさつ

あけまして
おめでとございます

理事長

江藤 郁

副理事長

深草 秀昭

常務理事(事務局長)

釘宮 祐一

理事

正池 功

河合伊津子

吉村正太郎

西田 明彦

首藤多恵子

大野 憲一

渋谷 建治

齊藤 道子

監事

田嶋 敢

仲矢 吉徳

佐藤 秀典

幸 義廣

渡邊 邦治

衛藤 光

板井 正直

小浦 良雄

高橋 豊文



年頭のごあいさつ



大分市長
足立 信也

明けましておめでとうございます。公益社団法人大分市シルバー人材センターの会員の皆様をはじめご関係の皆様におかれましては、よき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年十一月の佐賀関大規模火災で被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。今後とも住居支援など被災地域の日も早い復旧・復興に向けて、全力で取り組んでまいります。

さて、昨年は新たな大分市総合計画のもと「誰もが『幸せ』を実感できるまち OITA」を掲げ、様々な事業を推進してまいりました。

本市の高齢化率（総人口に占める六十五歳以上の割合）は年々

上昇し、二十九・〇％（令和七年十月末日現在）となる中、貴センターにおかれましては、地域社会の活性化に大変重要な役割を担っていただいております。会員の皆様には、今後とも「地域の支え手」として、より一層ご活躍されますことをご期待申し上げます。

本市といたしましても、高齢者が健康でいつまでも活躍できる地域づくりを通して、互いに尊重し合いながら、身体的、精神的、そして、社会的にも幸せを実感できる「ウェルビーイング」な大分市の実現に向け取り組んでまいりますので、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人大分市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

ボランティア清掃へのご参加 ありがとうございました



ななせの火群まつり会場清掃

七月二十七日(日)に、会員と職員が「まつり」を盛り上げるために開会式に参加し、開会式終了後、会場の清掃作業も行いました。また、翌二十八日(月)には、早朝から会場のボランティア清掃に参加し、汗を流しました。



「大分いこいの道」

芝生広場清掃

十月二十五日(土)に「大分いこいの道」芝生広場のボランティア清掃を行いました。雨も心配されましたが、曇り空の中、清掃を行いました。



本場鶴崎踊大会会場清掃

本場鶴崎踊大会開催日の八月二十三日(土)に会員と職員が参加し、会場の草取りを行いました。



ご協力いただきました皆様へ心よりお礼申し上げます。このボランティア清掃で会員同士や職員との交流ができました。今後とも多くの会員の皆様の参加をお待ちしております。



植木剪定部会 会長

深草 秀昭

今年の十二支は「午（馬）」である。動力機械の発明まで、馬は最速最高の移動手段だった。人類がこうむった恩恵は計り知れないものがある。しかし「馬」にまつわる成語の類には馬鹿にしたものが多い。「馬耳東風」「馬の耳に念仏」「馬齢を重ねる」、極めつけには「馬の骨」である。元々の語源は中国の「役に立たないもの」を意味する故事『一に鶏助・二に馬骨』に由来するものである。「馬」に関係するこれらの成語を反面教師と捉えて「手考足思」し乍ら安全・安心な仕事に徹するとともにお客様からいつまでも必要とされるためにも、日ごろからアンチエイジングを心がける所存です。

謹賀新年!!



草刈り部会 会長

佐藤 秀典

明けましておめでとう御座います。

昨年は記録的な高温と少雨が三年連続で最高を記録するなど屋外で作業するシルバー世代にとっては熱中症に注意しながらの厳しい夏でした。また最近ではデジタル化が進み、我が人材センターもペーパーレス化で配分金がいんターネットで見られるようになりシルバー世代にはこれまで大変な時代になりました。今年も熱中症に負けない体力、デジタル化に負けない頭の体操を心掛け過ぎたいものです。

草刈り部会も事故ゼロを目指しての作業ですが、ゼロにできず今年こそはゼロを達成できる様頑張ります。

今年も良い年になるよう頑張ります。



福祉・家事援助サービス部会 会長

河合伊津子

今、少子化に即効薬がないと言われる中、早急な対応が必要なのと同様にシルバー人材センターの女性会員の拡大も急務です。

福祉・家事援助サービス部会は依頼者の方や高齢者の方を私たちが支援することで、利用者の方が自分らしく生活を送れるように生き方や価値観を尊重することが大切です。

一対一でかわりを持つのは大変ですが、そこは私たちの豊かな経験で乗り切っていけるものと信じています。

福祉班、家事援助班、軽度生活班の各班长の下で講習会を行ってきました。

会員皆様の先々の生き方にも必ずプラスになると思います。と同時に私たちも元気ではあります。体が、体調に気を付けて無事故で今年一年を楽しみ、心豊かに過ごしていきましょう。

草刈り部会
広い公園を
みんなで草刈り福祉・家事援助サービス部会
“脳トレクイズ”剪定スクール
“松の芽摘み”



安全・適正
就業委員会 委員長
幸 義廣

安全標語優秀賞

「これくらい」と思う

過信が事故招く

会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年も様々な安全情報をお届けします。毎月二十五日の安全ニュースは是非ご覧ください。

冒頭の安全標語は、本年度大分市シルバー人材センターの会員・職員から応募のありました百三十八作品(会員応募百二十一作品)のなかから優秀賞として選ばれた標語です。ありがとうございます。

この標語はこれから一年間様々な事業で活用され安全就業に活かされることとなります。

さて、本年度の事故につきましては令和七年十一月末で既に二十八件の事故が発生しており、この中には刈払機による事故が多く、飛び石や切断等の事故に繋がっています。

また昨年までは就業場所への

行き帰りの事故も多くなっており安全運転等の細心の心がけなどが必須となっています。

全国的には昨年度は三十六件の重篤事故が発生し、その内、二十六人が亡くなり、そのなかで女性は五名でした。事故は決して他人事ではありません。

特にシルバー会員の場合は高齢者による事故として、お仕事中の事故は勿論、冬場の入浴中の事故や夏場の食中毒、熱中症などもあり、年間を通して気を付けて頂くことが極めて大切なこととなります。

冒頭の「『これくらい』と思う過信が事故招く」の標語をお出かけ前には是非復唱していただき日々の安全就業の心がけとしていただきますようお願いいたします。

本年も会員皆様方の「生きがいづくり」を基本として、事故は一件でも少なく一人でも減らす努力を安全・適正就業委員会として実行してまいりたいと存じます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和七年活動報告



事務局：地震防災訓練



地区長及び地域班長連絡会



新入会員研修会



安全衛生委員会：職場巡視



安全・適正就業委員会：安全パトロール

事務局入り口に
作品が
展示されています



- 構 成**
- 女性理事 — 全員
 - 女性会員のうち
 - 植木剪定部会または草刈り部会会員 — 2名
 - 福祉・家事援助サービス部会会員 — 2名
 - 派遣会員 — 2名
 - 右記に属さない会員 — 2名

設立の目的

女性会員拡大及び就業開拓を行うことを目的として設置された委員会です

シルボンヌ委員会より

シルボンヌ活動内容

年 度	回	開催日	内 容	参加人数	
				会員	市民
令和6年度	第1回	令和6年6月14日	クラフトバンド（カトラリー入れ）	4名	0名
	第2回	令和6年8月27日	編み物（モチーフ、エコたわし）	7名	0名
	第3回	令和6年9月17日	クラフトバンド（コスモスリース）	7名	1名
	第4回	令和7年2月21日	折り紙（紙ひな人形）	5名	7名
令和7年度	第1回	令和7年5月16日	クラフトバンド（かご作り）	10名	2名
	第2回	令和7年9月30日	ハーバリウム	8名	18名
	第3回	令和7年12月1日	防災	13名	5名



編み物

お一人でも、また
シルバー以外の
お友達とでも
ご参加ください



カトラリー入れ



クラフトバッグ



折り紙



ハーバリウム



コスモスリース

毎月第4金曜
“こすもすサロン”
開催中

お野菜などの販売



会員さんの飾り付けNICEです

シルバー
ふれ愛
フェスタ

十一月十六日(日)に
シルバーふれ愛フェ
スタが開催されまし
た。お天気にも恵ま
れ、約七百名のご来
場をいただき大盛況
でした。

怪獣登場!!!

会員さんから
指編みを教えてもらって

手作り作品も人気です

大人気のパルーンアート



趣味の広場

ぬり絵

「お江の方」
(ボールペンによる点描)

長畑 孝典さん

短歌

長畑 孝典さん

年を追ひ音信絶ゆる友多し
空しく記憶の外に消えゆく
つれづれにアルバム繰れば
若き日の尽きぬ思ひの
蘇りくる

平凡なひと日の暮らしを幸せと
七十路生きむ惑ふことなく



フラワーボード

ドライフラワー
(フラワーボード／壁掛け)
長畑 孝典さん

新人職員紹介



植木 明美

業務課
剪定・草刈班
令和7年8月着任

〈退職のお知らせ〉

業務課 継続・家事援助班
佐藤 友紀 (令和7年8月末付)

事務局通信

◆正会員会費規程の

一部改正について◆

七月発行の道標二十六号でもお知らせしましたが、会費の金額と納入期限が変更になりました。

令和八年三月上旬に納付書をお送りいたします。

変 更 後

令和8年度 年会費

2,000円

納入期限

令和8年3月25日



◆新しい契約方法への

移行について◆

令和八年四月よりお客様との契約方法が変わります。詳細は本日お配りの別紙をご覧ください。

◆会員クラウドサービス

登録展開中◆

スマホやパソコンから左記内容をいつでも閲覧できるサービスです。

センターからのお知らせ及びご連絡を主に会員クラウドサービスで行っております。

会員クラウドサービスで

確認できること

① 配分金明細書

配分金支払日の午前0時より確認が可能です。

② 配分金支払証明書

指定期間の配分金金額の確認と、支払証明書の印刷ができます。

③ 就業条件明示書

センターからお仕事を紹介された場合、紹介された仕事の詳細について確認できます（仕事の場所や内容、配分金の単価など）。

④ センターからのお知らせ

「お知らせ」メニューから「事務局だより」や「安全ニュース」その他行事などのお知らせをご覧いただけます。

⑤ お仕事検索

最新の求人募集が確認できます。ホームページよりも詳しく配分金

／給与の額も確認できます。希望するお仕事の場合、ボタンから電話やメールで申込可能です。

◎ スマホをお持ちでない方やス

マホでの登録を躊躇している方のために、事務局内にパソコンとプリンターを用意し、「会員クラウドサービス」が利用できるようにしていますので、どうぞご利用ください。使い方に不安のある方は事務局職員が丁寧に説明いたしますので、お気軽にお声掛けください。

◎ 事務局からの連絡について

今年度より携帯電話番号へショートメールでのお知らせも始めました。事務局からのお知らせが携帯電話に届きます。ぜひご覧ください。

※ショートメールへの返信はできません。事務局へのご連絡は、お電話でお願いします。

会員クラウドサービスはこちらから



シルバーだより

道 標 第 27 号

●発行／令和8年1月1日

●発行所／

公益社団法人大分市シルバー人材センター

〒870-0026 大分市金池町3丁目2番3号

TEL 097-538-5575

FAX 097-538-5576

ホームページのご案内

<https://oita.o-sjc.com/>

●会報編集委員

釘宮 祐一・岡田 加奈江
那賀 美保・今石 友美

編集後記

あんなに毎日暑かった夏がすぎ、早く秋が来ないかなと思っておりましたが、一気に冬がやってきた感じでした。寒暖差が激しく体調管理が難しくなりました。最近是一年中コロナやインフルエンザが流行っているようですが、今は特に学級閉鎖などインフルエンザが猛威を振るっているようです。病気には栄養と休息が不可欠、回復には適度な運動も必要といいますが、バランスのとれた食事と、十分な休養で健康な毎日を過ごしていきたいものです。



(N)